

味噌川ダム 特別防災操作を実施 洪水を全量貯留！

木曾川水系木曾川の味噌川ダムでは、前線の影響による降雨で、ダムへの流入量は、最大65.68m³/sに達し(7月5日 2時00分)、ダムへ流れ込む水の全量を貯める特別防災操作を実施しました。

これにより、ダム下流の大手橋地点(長野県木曾郡木曾町)の河川水位をダムがない場合と比べ最大0.27m低減させました。

* 防災操作とは、大雨などの際、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込み、ダムから下流へ流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作です。今回は、ダムへの流入量を全量貯留する特別防災操作を実施しました。

* 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

平成30年7月6日

独立行政法人水資源機構
味噌川ダム管理所



配付先

信濃毎日新聞 中日新聞
市民タイムス 松本平タウン情報

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 味噌川ダム管理所
所長代理 武田たけだ(内線331)
住所：長野県木曾郡木祖村小木曾2058-22
電話：0264-36-3111(代表)

味噌川ダム 洪水に対し全量貯留操作を実施

木曾川水系木曾川の味噌川ダム（長野県木曾郡木祖村）流域では、前線の影響により7月4日2時から6日15時までの総雨量が254ミリ（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムの下流河川では氾濫の恐れが生じたことから、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所の指示により、ダムへの流入量を全量貯留する特別防災操作を行いました。

特別防災操作開始時の5日2時のダム最大流入量時（毎秒65.68立方メートル）のダム放流量は毎秒6.33立方メートルであり、流入量の約90%（59.33立方メートル）をダム貯水池に貯留しました。

防災操作の概要

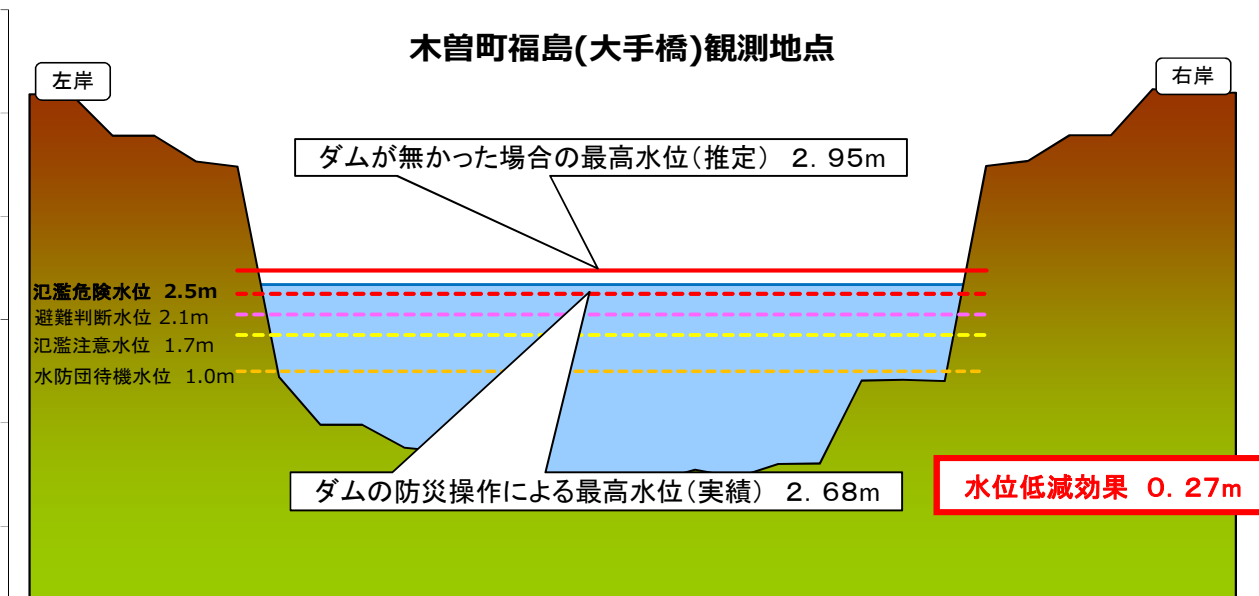
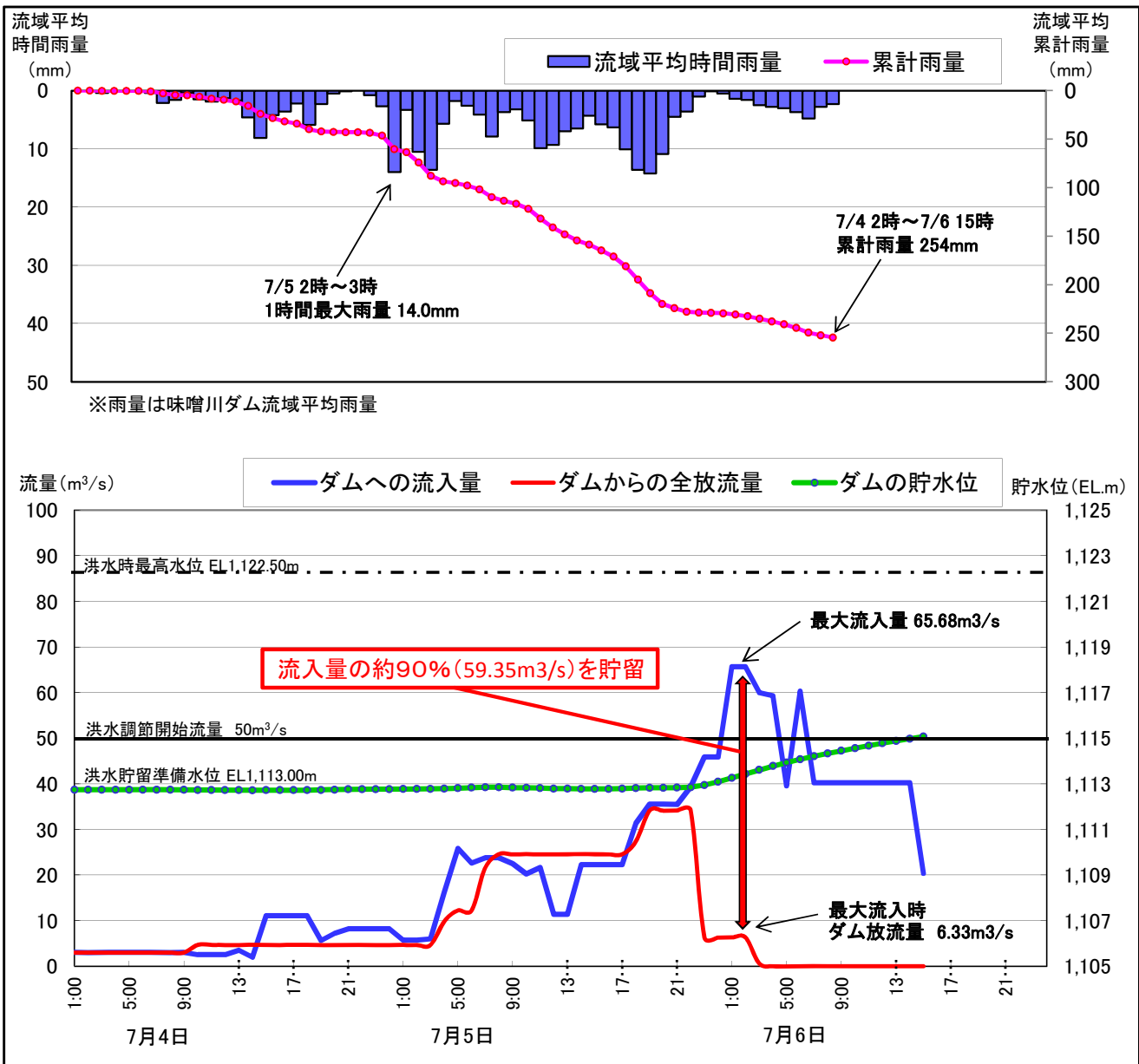
	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダム放流量	同時刻におけ るダム貯留量
味噌川 ダム	254mm	平成30年7月5日 2時00分	毎秒65.68m ³	毎秒6.33m ³	毎秒59.35m ³

ダム下流の大手橋地点（長野県木曾郡木曾町福島大手町）では、味噌川ダムの特別防災操作によりダムがない場合に比べて河川水位を約0.27mの低減できたことが推測され、下流の河川水位の上昇を抑制しました。

木曾町福島地点の水位低減効果

木曾町福島 の河川水位が 最高水位とな った時刻	同時刻におけ る 木曾町福島地 点の河川水位	ダムがなかつ た場合の 同地点の最高 水位	水位低減効果
平成30年7月6日 2時00分	2.68m	2.95m	0.27m

4日2時から6日15日までに味噌川ダムへ貯め込んだ水の総量は、約280万立方メートルで、25mプール約7,800杯分です。



味噌川ダム位置図

資料3



木曾町福島地点(大手橋水位観測所)位置図

